

第3章 住民意向の整理

1. 住民意向調査の方法

1.1 アンケート概要

調査対象地域 : 築上町全域
 調査対象者 : 18歳以上の町民1,000人(地域人口比率に応じて無作為抽出)
 調査期間 : 平成20年11月8日～平成20年11月30日
 調査方法 : 郵送による配布・回収

1.2 アンケート回収状況

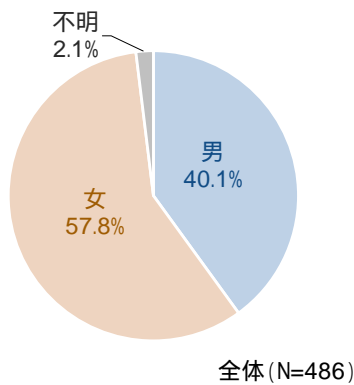
配布数 : 1,000通
 回収数(回収率) : 486通(48.6%)

2. 住民意向調査結果

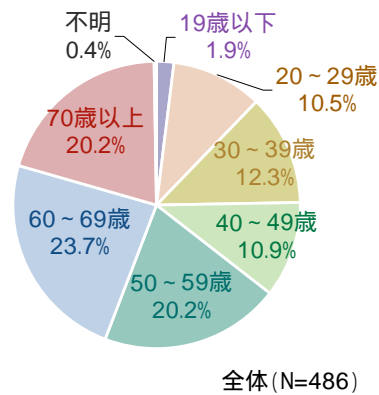
2.1 属性

性別は男性4割、女性6割。年齢は60歳代が最も多く60歳以上が全体の4割以上。
 職業は会社員が最も多く、次いで無職。第一次産業従事者は1割程度。
 居住地は椎田地域が約5割、築城地域が約4割、山間地域が約1割。

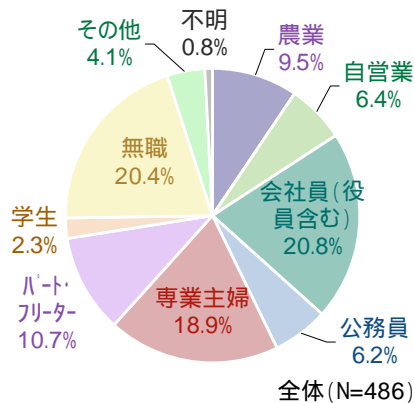
問1 性別



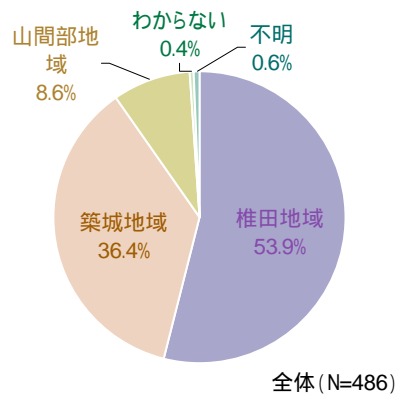
問2 年齢



問3 職業



問4 居住地

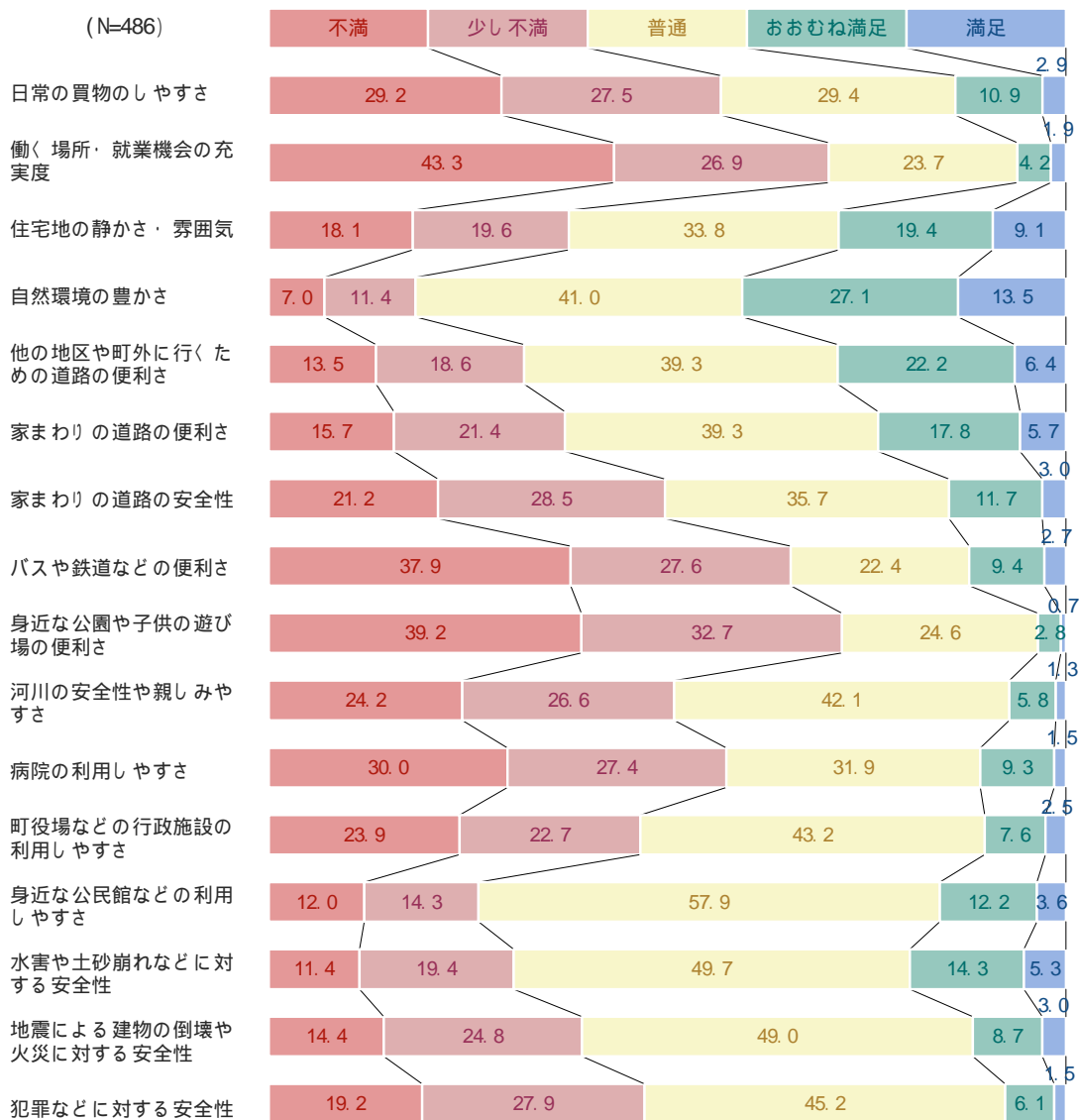


2.2 生活環境に対する満足度

日常の買物利便性の満足度低い	
就業機会の満足度低い	
住宅地の静けさ・雰囲気の満足度高い	
自然環境の豊かさの満足度高い	
家のまわりの道路への満足度低い	
バス・鉄道の利用満足度低い	
身近な公園の満足度低い	
河川の安全性や親しみやすさの満足度低い	
病院の利用しやすさの満足度低い	
公民館等の利用しやすさの満足度高い	
地震や火災に対する家屋の安全性満足度低い	
犯罪に対する安全性満足度低い	

: 満足、 : 不満

問5 身の周りの生活環境について(5段階評価)

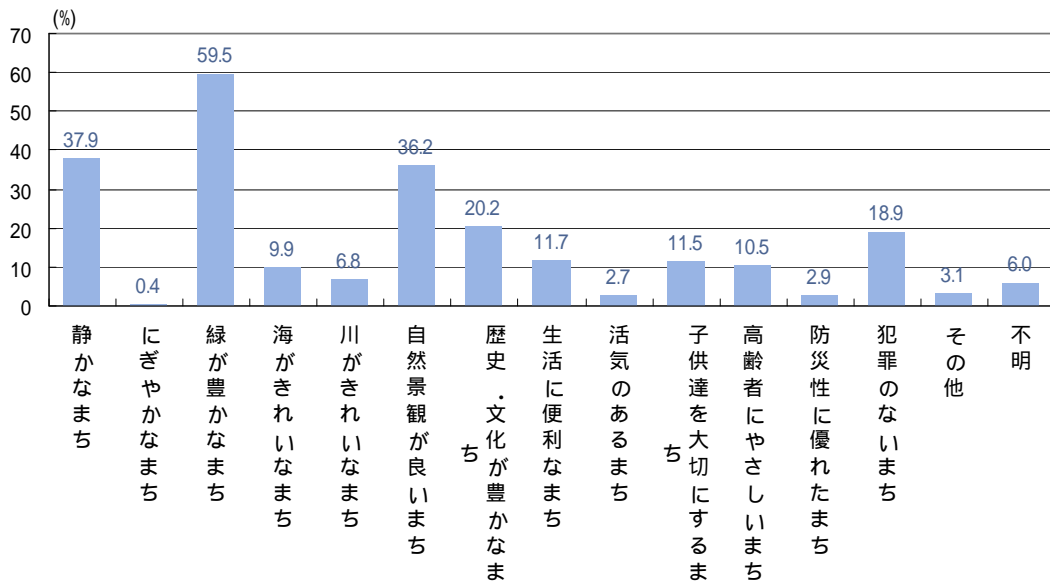


2.3 地域イメージの現状認識

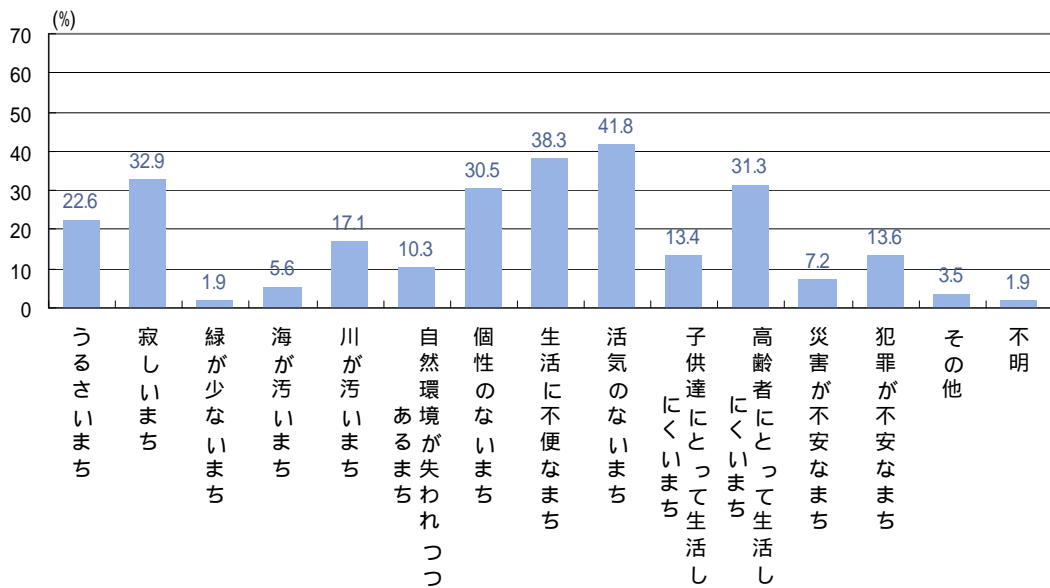
「緑が豊かなまち」「自然環境が良いまち」というイメージ高い
 「静かなまち」というイメージ高い
 「活気のないまち」「寂しいまち」というイメージ高い
 「生活に不便なまち」「高齢者にとって生活しにくいまち」というイメージ高い
 「個性のないまち」というイメージ高い : 良いイメージ、悪いイメージ

問6 住んでいる地域の現状について、どのようなイメージを持っているか(複数回答)

<良いイメージ>



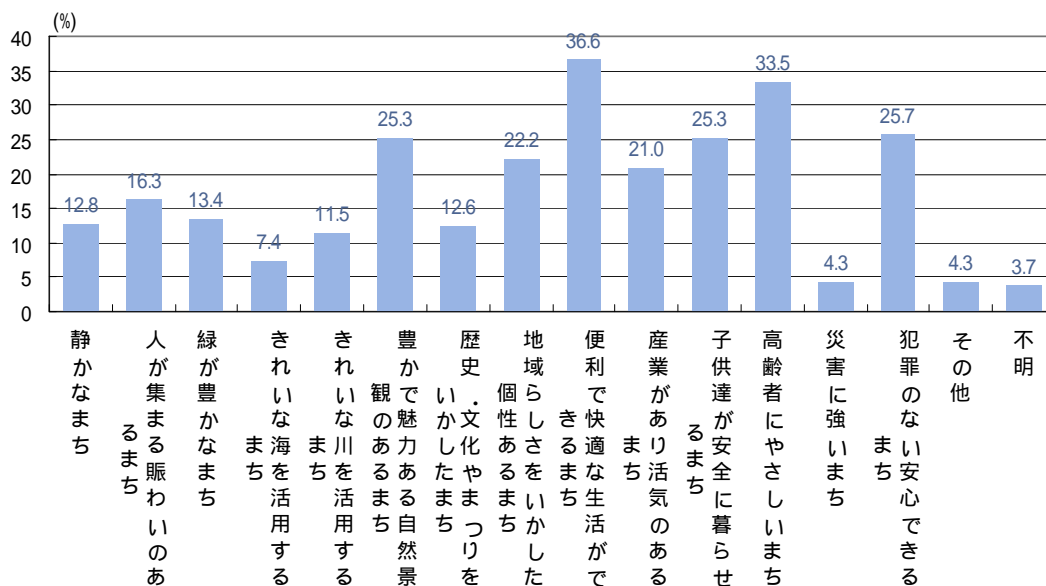
<悪いイメージ>



2.4 地域イメージの将来像(望まれる地域イメージ)

「便利で高齢者にやさしいまち」が望まれている

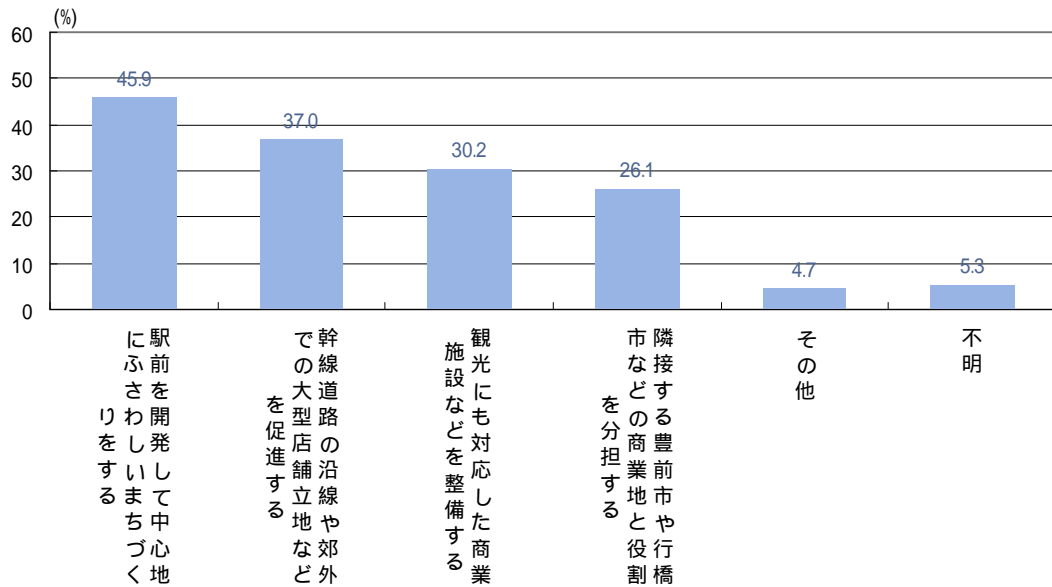
問7 住んでいる地域は将来どんなイメージになると良いと思うか(複数回答)



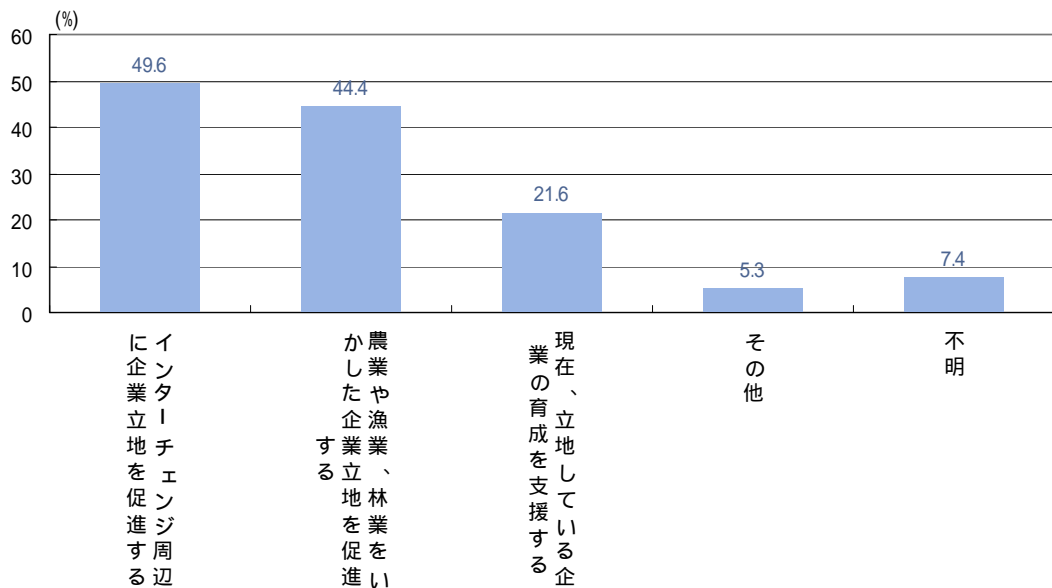
2.5 将来の活気あるまちづくりのための方策

駅前を開発して中心地にふさわしいまちづくりをすることが望まれている
 インターチェンジ周辺に企業立地を促進することが望まれている
 観光農園や町民農園、農業体験など、農業を観光利用することが望まれている
 水産物のブランド化を進めることが望まれている
 林業体験や森林浴など、林業および森林を観光利用することが望まれている

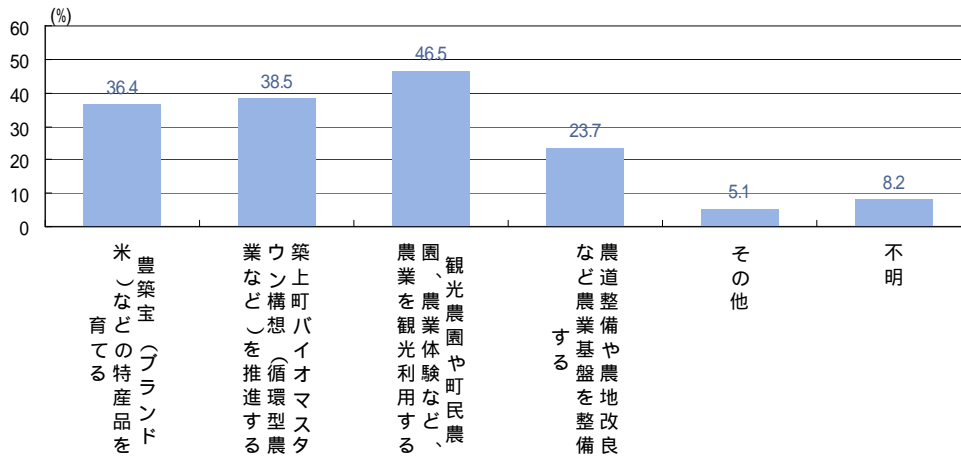
問8 築上町の商業地を活性化するためにはどうすれば良いか(複数回答)



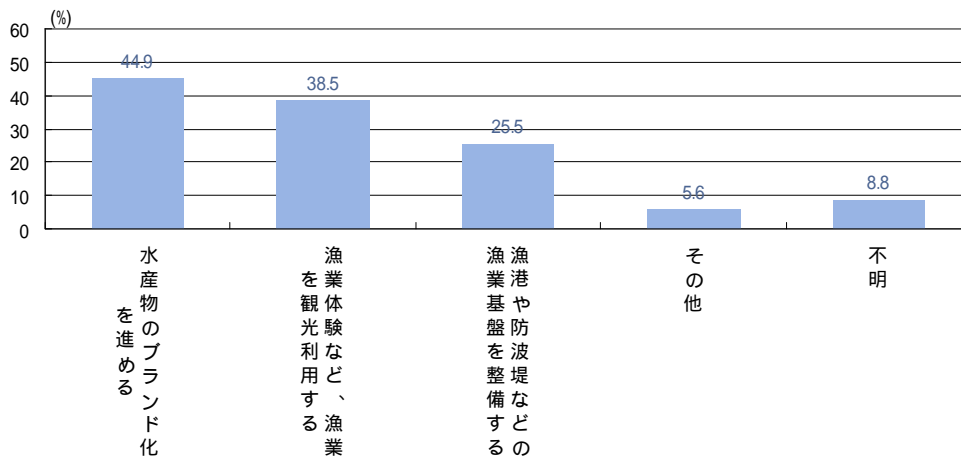
問9 築上町の企業立地などを促進して、活力あるまちにするためにはどうすれば良いか(複数回答)



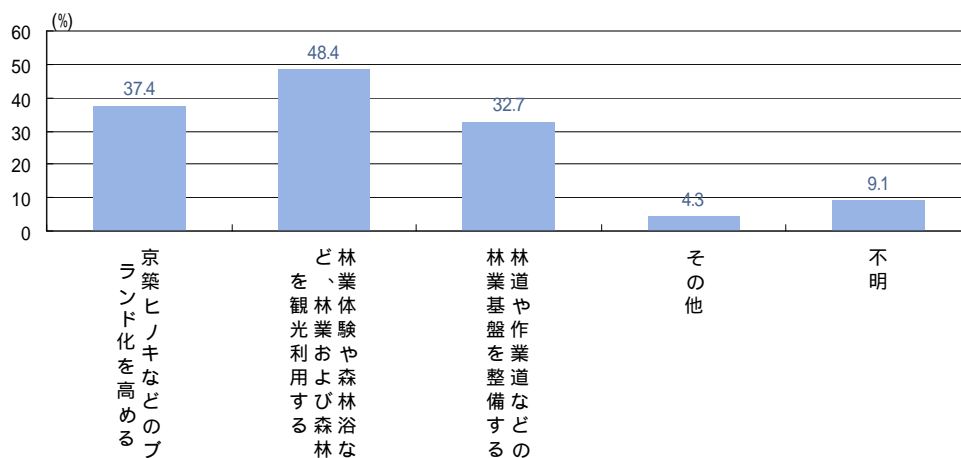
問 10 築上町の農業を振興するためにはどうすれば良いか(複数回答)



問 11 築上町の漁業を振興するためにはどうすれば良いか(複数回答)



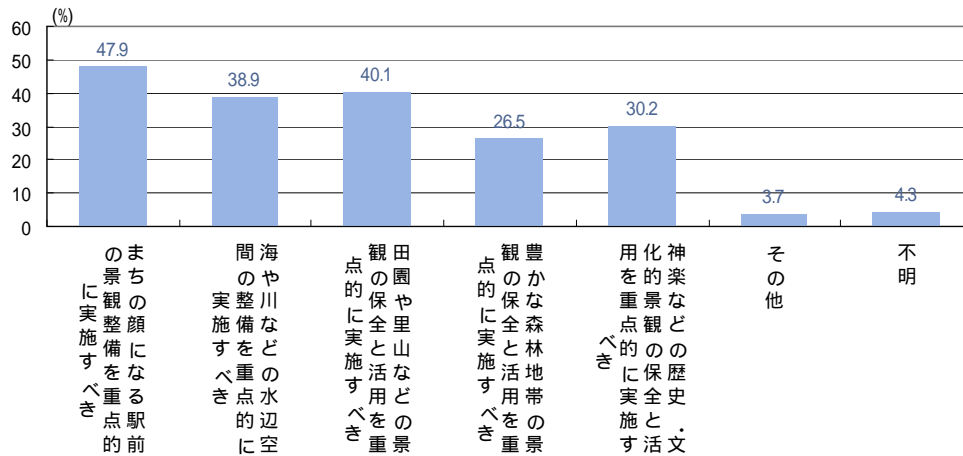
問 12 築上町の林業を振興するためにはどうすれば良いか(複数回答)



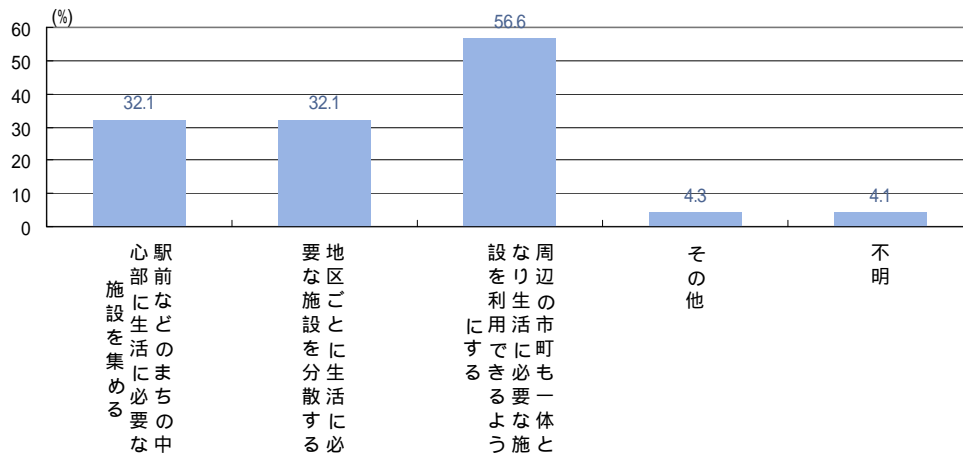
2.6 魅力があり便利で快適なまちづくりのための方策

まちの顔になる駅前の景観整備を重点的に実施することが望まれている
 周辺市町も一体となり生活に必要な施設を利用できるようにすることが望まれている
 地域住民のふれあいや防犯活動などを充実することが望まれている

問 13 築上町の町並み・景観をどうすれば良いか(複数回答)



問 14 便利に生活できるようにするためにどうすれば良いか(複数回答)



問 15 誰もが安全に安心して生活できるようにするためにどうすれば良いか(複数回答)

